

組工CC全国 開催セミナー設備保全

初回は空気圧トラブルがテーマ

全国コイルセンター工業組合は16日、幕張の高度ポリテクセンターで設備機械の自主保全のスキルアップセミナーを開催した。この設備保全の講習会は1講座2日間のコースで来年2月まで計6講座が開催される。

講師は同センターの竹野俊夫氏が務めた。2019年は大阪、20年は名古屋での開催。今回3年ぶりの東京開催となる。新型コロナウイルスの影響で各地区からの移動が難しくなったため初日は3人の参加にとどまったが、各人集中して取り組み、密度の濃い内容となった。16―17日に開催された第1講座では空気圧設備のトラブルと省エネ対策がテーマだった。



講演会の様子

空気圧装置（アクチュエーター、ソレノイドバルブ、空気圧回路、エアコンプレッサーなど）の構造と仕組みの解説、実際のトラブル事例を取り上げ、原因の正しい究明、点検や補修において前提となる条件や具体的な方法について、初日は座学が行われた。2日目は同センター内にある実物の設備を使って保守点検の手順に沿って作業が行われた。